前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏 (法人にあっては名称)				住 (法	住 (法人にあっては主たる事業所の所在地)			
名 小橋工業株式会社					〒 701-0292 所 岡山市南区中畦684			
	쇼n FE	カ	人力. 勿兴休托如	/// / / / /		54		
	<u>' , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,</u>	\ \\	会社 経営統括部		三块児(米			
主たる業	種 2	26 業種名	: 生産用機械器具製	^退 造業				
	農業		7リー、トラクタ用代かきれ 農業用機械:12000				うん爪)	の製
	番号	工		所 在 地				
	1	小橋工業株式会社 本社・工場		岡山	岡山市南区中畦684			
県内の		1						
主な								
工場等								
特定事業	*	┛] ①燃料等原油換算1	,500kl以上 □②バラ		: :: タクシー250台レ	<u> </u>)CO ₂ 換算3.	000±LY F
の該当要		〔●工場等の数	1 所		台数 (②該当		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	台)
<u> </u>			1 //1	<u> </u>		v>/// Ц /		μ/
温室効果な	iス 基	準年度(平成 24	年度) (平成	25)年	度排出量目	標年度(平成 29	9 年度)
排出量		7,748 t	; CO ₂	9, 03	36 t CO ₂		7, 361	t CO ₂
	耆	番号 工場等の名称			(平成 25)年度排出量			
		① 小橋工業株式会社 本社·工場			9, 036 t CO ₂			
ᅶᄼᆍᄖ	<i></i>				t CO ₂			
主な工場の排出量								t CO ₂
*> 10 L FM 3E	`							t CO ₂
								t CO ₂
								t CO ₂
	⇒	- 田田・	亚比 95 左座		亚比 20 左	: 庄	(F [']	答 年 庄 〉
削減目標	$\langle \mathcal{O} \rangle$		平成 25 年度	□ (1)□ (2)□ (3)□ (4)□ (4)<	平成 29 年			箇年度)
達成状況		総排出量基準	+ -	削減実績	目標削減率		目標達	
		☑ 原単位基準	△ 3.5	%	5. 0	% □ 适	達成	☑未達
(原単位基	温	室効果ガスの排出量と	密接な関係をもつ値の			当たり排出		m for the
の削減目標	を	•			基準年度 (25) 年度 目標年度 7.544 7.808 7.167			
選択してい 場合に記入		101 9 10 11 = 1 20 1 30 1						
				t CO ₂ /	(J/A) T CO ₂	/(刀平)	ι CO ₂ /(カ平)
(該当事業			and the second	<i>></i> +1△+==	BB/丰业/1+ /で	7.H 0.T	左曲	***
	ベンチマーク 対象事業の名称 ベンチマー		2 指標	関連数値(室	平成 25	年度)	達成率等	
指標の状	沈							
【削減状		自己評価】	マウは何ノ ガチブ	- ペポリキャマ	. 学し活動した	休田 か	ニウロゼ	田のマウル

・平成25年度は設備面での改善予定は無く、活動面で削減を予定し活動した結果、省エネ目標のエネルギー原単位1%削減が達成できた。

【参考

C02削減目標の未達については、電気のC02換算係数が変化 (0.000657→0.000738) した事によるもので、換算係数を前年度と同じ (0.000657) にして計算してみると平成24年度に対し3.4%の削減となり達成できている。

_					
•	1.//-	淮	μ	. <i>⊢</i> +r[٦
	\mathbf{u}	→/H÷	17	'+- 11	
	7 H-	100	1/13	. 11111	

- ・社内委員会【環境委員会】を毎月開催し、エネルギー使用量報告等の実施した。また、この委員会の中で省立活動の推進、委員会メンバーにて環境パトロールを実施した。
- ・H22年3月度に IS014001を認証取得。活動方針に省球活動を掲げ、推進継続中。

【目標削減率達成のために実施	直した措置及び今後の取組】			
工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容			
H24度実施分 本社・工場	H25年度実施分 ・省エネ活動の徹底推進 OA機器の節電、照明器具のこまめな消灯 鍛造加熱炉の始業前点火時間の削減 圧縮エアー漏れ箇所の撲滅			
今後実施予定分本社・工場	今後実施予定分 ・鍛造加熱炉をリジェネバーナー搭載(排熱回収)の加熱炉に1台更新予定。 (削減量:160t-C02/年) ・塗装乾燥炉の燃料変換(灯油→LPG) (削減量:30 t -C02/年)			

【森林保全等吸収源対策への取組】				
県内で の取組	無			
その他	無			
【再生可	能エネ	ペルギーの導入】		
県内で の取組	無			
その他	無			

【その他特記事項】		